

*視察目的 「議会映像配信システムについて」(仁木町議会)

議会と町民の情報共有は、住民自治の根幹であり、そのための手段として、議会傍聴の奨励・議会だよりの発行・町民懇談会等を実施してきたが、未だ満足する状態となっていない。従来の手法をさらに充実させると共に新たな機会の提供も工夫していかなければならない。

議会改革の初期段階でインターネットでの情報発信を検討し、議会単独のホームページを開設している。議会活動の動画配信も課題とし、室蘭市議会のシステム視察をはじめ具体的な導入に向けて議会として検討してきたが、合併問題、その後の財政状況悪化による自立プラン計画により、実現の見通しが立たず、議会評価の課題として位置付けられてきた。

本年4月から施行されている議会基本条例に基づく議会活動の目標(基本事項)のひとつである「町民がわかりやすく参加(参画)する議会」をめざした町民との情報共有は、議会活動を動画で情報提供することにより、町民の理解と関心を高めることにつながるとし、町は、国の景気対策の一環として示された、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業」に交付金100%事業として「インターネット映像配信事業」を掲載した。

町内におけるインターネット接続件数は、500件程度で全体の約20%とまだ少ない状況にあるが、将来の情報通信網の発展を考えると徐々に増加することは間違いなく、早急な対応が期待されていた。

ネット映像配信の活用は、議会のみならず行政サイドの情報発信(・イベント紹介・事業の案内・諮問機関等会議の配信等)としての有効活用も期待される。

議会としては、ライブ中継や録画配信でいつでも都合に合わせて見ていただくことにより、議会活動がより理解され、情報共有につながり、町民の皆さんからの議会・行政への発信が促進され、議会の活性化が期待されるものと思います。

仁木町の議会映像配信は、地域イントラネット基盤施設整備事業(総務省情報通信格差是正事業)の一環として取り組まれております。道開発局の情報BOX(21KM)を借用し11施設に接続、無線LANで4区間7施設を接続している。総事業費102,000千円の内、議会中継分は4,032千円(維持費は別に528千円)となっている。生活館・生活改善センター等の地域集会所で議会のライブ中継が傍聴でき、ホームページで録画を配信する形態になっているが、HP録画配信については、平成19年度1回分より見ることができない状況であった。反応(スピード・画質)が悪く(遅く)改良の余地があると強く感じた。

福島町議会のHPは、単独で配信し「開かれた議会づくり」を目標に内容も充実、大きな役割を果たしている。議会映像配信システムの導入でアクセスカウンターがますます増えてくると思います。

HP・映像配信システムの容量調整の工夫も必要であり、You Tube等のスポット的な活用も検討すべきと考えます。

理想的な整備は、難しいと思いますが、何よりも大事なことは、画質やスピードより住民の期待に応えられる内容の充実であることを肝に銘じなければならない。住民にとって魅力のある議会づくりの一番の課題は、議員個々の資質の向上であることも間違いありません。